

ワーワーとわあー！

安心で住みよい町に！

議会だより

からうら

2 常任委員会を廃止 ②

役場の耐震は ④

TPP関連など一般質問 ⑤▶⑪

ボランティアの原点 ⑫
町内一斉清掃

No. **64**
2013. 7. 30発行



簡易水道工事 進む！

沼江・川北簡易水道工事契約

沼江簡水配水池改築工事 **1億6,900万円**

川北簡水水道管布設工事 **1億4,200万円**

一般会計補正予算 **875万円**

主なもの

- * サルビア作業所改修費用 300万円
- * 避難所備蓄倉庫設置、備品購入 300万円
- * インクルーシブ教育協力員配置 184万円
(委員会のハイライト参照)

6月 定例会

2 常任員会を廃止

6月定例会は12日から21日まで開き、補正予算や議会の承認が必要な工事請負契約、人権擁護委員の推せんなどについて審議し可決しました。

一般質問には、7議員が農業政策などについて問いました。また、今定例会をもって、総務産建、文教厚生の常任委員会を廃止しました。



副議長に籾公一議員を選出

国清一治副議長の辞任に伴い、新副議長に籾公一議員を指名推せられました。



徳島県町村議会議長会

会長に大西議長

7月1日付で大西議長が、徳島県町村議会議長会の会長に就任されました。

任期は2年間。

立川地区 全議員で現地踏査

5月21日、全議員が立川地区で行われている事業の視察を実施した。

現場の状況は

今年度、解体されるクリーンセンターでは建物や周辺の状況、運搬ダンプが数多く往来する道路状態などを踏査した。

また、同じく今年度中に相生地区の合流地点まで完成予定の林道や不燃物処理場も視察した。



クリーンセンター



林道 立川・相生線



不燃物処理場

委員会構成が

変わりました

議会運営委員会

- ◎ 委員長 国清一治
- 副委員長 河野道雄
- 委員 節公一
- 委員 川端雅夫

議会広報常任委員会

- ◎ 委員長 節公一
- 副委員長 美馬友子
- 委員 国清一治
- 委員 森本守
- 委員 井出美智子

東部広域農道整備促進特別委員会

- ◎ 委員長 森本守
- 副委員長 河野道雄
- 委員 麻植秀樹
- 委員 山野忠男

防災対策特別委員会（全員）

- ◎ 委員長 山野忠男
- 副委員長 麻植秀樹

人権擁護委員



三好君代さん
（生名）の推せんに
同意しました。

全ての事業が完了

勝浦中学校改築調査特別委員会

●今定例会で解散の報告

勝浦中学校改築調査特別委員会は平成21年9月定例会において、中学校改築に係る諸問題に関する調査および対策を図ることを目的に設置されました。

4年間で約30回の委員会等を開催し、校舎位置や推進体制など調査、提言を行ってきましたが、平成25年3月に全ての工事が終了し、事業が無事完了しました。委員会の目的を終えたので、5月21日の特別委員会で解散を決定しました。



完成後、初めての勝中体育祭

委員会ハイライト

6月定例会に向けて委員会を5月20日に開催し、補正予算などを審議しました。

総務産建常任委員会

「どう進んでいる」

役場の耐震診断

節議員

平成24年度の繰越し事業の役場庁舎の耐震診断事業はどうか進んでいるのか。

伊丹企画総務課長

入札をして、今、診断をしているが2〜3月かかる。その結果をみて今後、対応する。

「こますぎる」

防災備蓄倉庫

国の「住民を守る震災に強いまちづくり事業」により、消防費3百万円を補正し、希望のあった6地区に防災備蓄倉庫を設置し、備蓄品をそろえる。



量1枚分？

国清議員

備蓄倉庫が畳一枚分では「あまりにもこますぎる」のではないか。

伊丹企画総務課長

国の予算に限りがあり、一倉庫当たり10万円の予算である。

川端議員

もう少し予算を付けて、大きな備蓄倉庫を計画的に設置してほしい。

文教厚生常任委員会

サルビア作業所改修

美馬議員 300万円の予算が計上されているが内容は。

大西福祉課長 地域との交流を図ることを目的として、相談室兼食堂を増設する。

入院患者が大幅減 勝浦病院

「勝浦病院事業特別会計」の決算状況について、入院患者が1,681人減少し、収益で約4,200万円の減となったと報告があった。

国清議員 認知症やアルツハイマー患者は。

松本病院事務局長 現在入院患者もあり、対応している。

大西議員 院外処方はどうするのか。

松本病院事務局長 平成24年度の決算を精査し、平成26年度スタートで検討中である。



改修されるサルビア作業所

「インクルーシブ教育システム」協力員配置

教育委員会から学校教育において、障害者の権利を守る「インクルーシブ教育システム」の導入に向けて、データ収集する協力員を雇用する予算185万円を補正すると説明があった。

節議員 インクルーシブ協力員は教員資格を有するが、授業を受け持つ予定はあるのか。

また、所属先と勤務体系は。

坪井教育委員会事務局長 協力員は授業を受け持つことはない。所属は生比奈小学校で校長の指揮下になる。勤務は一般教員と同じ勤務体系となる。

*インクルーシブ教育とは、障害のある子どもを含む全ての子どもに対して、通常の学級に置いて行う教育のこと。

自主防災隊

活動時の災害補償は

補償はない（企画総務課長）

河野道雄 議員



問 町内の各地区に自主防災隊が組織されているが、町の体制は。

答 伊丹企画総務課長

自主防災隊は、平成20年4月に全地区に設置され、翌21年4月、全町的な組織として「勝浦町自主防災組織連絡協議会」が結成された。

構成員については全世帯である。

勝浦病院の充実を

問 隊員の災害時の補償はあるのか。

答 伊丹企画総務課長

自主防災組織の構成員に対する災害補償はない。自己責任の範囲で、活動をお願いしたい。

問 南海トラフ巨大地震が起こると

多大な被害が予想され、病院等のダメージが心配される。勝浦病院の充実が必要でないか。

答 松本病院

事務局長

大地震による被害の可能性は十分

にある。病院の施設や医療従事者の充実が必要であると考えている。

問 町内の透析治療者は小松島市内の病院へ通院している方が多い。勝浦病院で透析治療ができる体制づくりはできないか。

答 松本病院事務局長

透析治療の導入については必要性は認識しているが、施設や医師、臨床工学士など専門職の人材確保が難しい。

問 医師の定年制と、医師確保の見通しは。

また、奨学金を町が負担し医師を養成しては。

答 松本病院事務局長

医師の定年は65歳だが、特例として本人の同意を得て、最長3年まで延長は可能である。

常勤医師の補充についてのめどはない。徳大病院や県の支援医師、個人病院の医師にサポートしてもらう。厚生労働省では2009

年から医学部の定員を大幅に増している中で、8年後ぐらいには医師の増が予想される。

答 中田町長

町としての医師養成につ

いては具体策がないが、県の医師養成の取り組みに期待をし、治療に不足をきたさないよう医師確保に努めて行く。



医師確保の見通しは？

山野忠男議員



TPP 事前協議

農業の基盤強化は

農地集積は難しい (産業交流課長)

問 TPP交渉参加は日本の大幅な譲歩で始まるが、外国に対抗できる農業の基盤強化と製造業や知的財産国民皆保険はどうなるのか。また、ジェネリック薬品の患者に対する影響や、農薬、遺伝子組み換え作物の基準など、食品の安全はどうか。

答 野上産業交流課長
農業の基盤強化として「人・農地・プラン」のアンケートを進めているが、農地集積は難しい。

答 小林副町長
日本企業の知的財産確保により、企業の技術やブランドが守られ海外進出が容易になる。

答 松本病院事務局長
特許期間の延長が合意されれば、ジェネリック薬品の生産に長い年月がかかる。薬価を決定する過程に製薬企業が参加すれば薬価が高騰し、保険財政が圧迫され患者の負担増が心配される。

答 伊丹企画総務課長
混合診療により保険適用でない外国承認新薬、高額な医薬品治療主義が導入されると、国民皆保険の崩壊につながる心配がある。

答 野上産業交流課長
日本の高い水準の農産物は東南アジアの富裕層の中でも安全な食品に対する関心は高い。

平成24年産みかんの品質不良の検証は

問 平成24年産みかんの国県、町の生産量と気象状況や腐敗果について、「勝浦町技術者連絡会」やJA全農とくしまからの検証報告は。

また、販路拡大と温暖化対策は。

答 野上産業交流課長
平成24年度の生産量は国88万トン、県1万1千トン、勝浦町3千5百トンで前年比95%である。



活躍中の「ちょぞっ娘」

多雨の影響で空気中の窒素が土壌に落ち、9月〜10月に窒素の影響が現れ浮皮となったり、糖度、酸度ともに低かったのが原因で腐敗果が多かった。

水施設について新たに県が認めれば県が4割、町が1割の助成で、町単独事業は3割の助成で上限50万円までとなっている。

また、販路拡大は、「ちょぞっ娘」の着ぐるみや販促用小分け袋、お土産用ダンボール箱等の活用で勝浦ミカンの知名度を上げて行きたい。

答 中田町長
温暖化対策として、かん



定住対策

若者の力を活用する場を

意見を聞き行政に反映（町長）

美馬 友子 議員



問 地域の活性化や地方を新しくリードして行くためには、若者の発想や意見を聞き、その能力を積極的に地域づくりに生かして行くことが必要である。

また、若者が中心になって定住や少子化対策など意見交換を行う協議の場を開催できないか。

答 中田町長
若い人が暮らしやすい町

はいかにあるべきかなど、提言や意見を聞き、それを行政に反映することも非常に大事だと考えている。少しずつ実行しながら成果を上げて行きたい。

問 勝浦に住んでいる若者が、地域に根ざしやすいように、新築や2世帯住宅への改修の支援や固定資産税の減税など考えられないか。

答 中田町長
補助に対する条件設計等もあり、効果の見極め公平性など検討する。人口減少抑制は最重要課題であり、多くの方が勝浦町に住んでもらえるような取り組みをして行きたい。

ホームページ

もっと勝浦の魅力を

問 各区には、婦人会や愛育班、子供会、消防団などの組織を町のホームページで紹介することで、生活に必要な情報が取り入れやすくなり、組織の活動の活性化にもつながるのではないかと。

答 小林副町長

ホームページは行政情報が大きな使命であり、勝浦の魅力や優位性を広く広報する上で欠かせないツールでもある。

住民の声を吸い上げ、反映できるように努めて行きたい。

問 トップページは季節ごとに更新し、イベント情報はスピーディーに対応してほしい。

答 小林副町長

トップページはほとんど変わっていない。季節を反映した魅力のある、見たく

なるようなホームページになるよう努めて行きたい。

乳幼児の遊び場を

問 子育て世代との交流や体力作りのためにも、乳幼児の遊び場は必要ではないかと。

答 大西福祉課長

町内には農村公園が4カ所あり、これらを子供の遊び場として、管理する所管課と連携して充実を図って行きたい。

また、各地区には神社やコミュニティセンターの広場もあるので調査し、考えて行きたい。



もっとほしい子供の遊び場（星谷）

井出美智子議員



風疹ワクチン 予防接種補助を

他の市町村の 推移を見て(町長)

問 空前の風疹の大流行が、全国に拡大しているが、町内の状況はどうか。
また、心配される問題点は何か。

答 大西福祉課長

患者は県内で24件確認されているが、町内ではまだ未発生である。問題は、妊娠初期に風疹にかかると、心疾患や難聴の障害をもつ赤ちゃんが生まれる可能性が高いことである。

問 現在33歳から50歳の男性は、ワクチン未接種である。特に重点的に予防接種を受ける必要がある20〜40代の男性は何人ぐらいか。せめて半額程度の接種費用補助を検討するべきではないか。

接種を急ぐべき対象者は限られている。同時に国や県に対して、風疹単独ワクチンの早期確保と財政支援を求めるべきでないか。ワクチン不足が確実に予想されているので、対策を急ぐ必要がある。

答 大西福祉課長

対象者は、母子健康手帳の交付実績から推測すると、36人から40人だが、潜在患者数を含むと相当数になる。保健指導を強化して、任意接種をすすめて行きたい。費用は町立病院で9950円で接種できる。

答 中田町長

補助については、他の市町村の推移を見て検討する。国や県に対しては、対策強化を求めて行きたい。

体験型農家民宿の 取り組みについて

問 農家民宿は

- 生きがい作り
- 農業の副収入の確保
- 勝浦町のファン、サポーター増やし
- グリーンツーリズムへの広がりなどがある。

「農ギャル」などの言葉に代表されるように、若い女性の間にも農業に対する

関心が高まっているが、日常的に多様な農業体験が行える体制をとり、交流から定住へとつながる場を提供してはどうか。
また、規制緩和で農家民宿は、取り組みやすくなっている。説明会や相談窓口を設けてはどうか。

答 野上産業交流課長

広報などを通じて、情報提供や周知をしていくことは可能だ。希望者が多ければ、説明会を持ちたい。

答 中田町長

グリーンツーリズムや農家民宿に対する理解がまだ十分でないので、今後、勉強して理解を深めて行きたい。



話がはずむ農家民宿（長野県）



野菜摂取量を増やすには

愛育班便りにレシピを掲載（福祉課長）

森本 守議員



問 徳島県は、野菜の摂取量が非常に少ないと報道されているが、県の状況はどうか。

答 小林副町長

徳島県成人1日の野菜接種量は、男性が245gで全国47位、女性が241gで全国46位となっている。1日摂取量の目標は350gで、徳島県はそれを100g以上下回っている。

野菜の摂取により生活習慣病の予防や免疫力を高めるなど健康を増進させるとともに、地元産の消費拡大につながる。チラシの配布各種イベント等を行う。8月の徳島野菜週間におけるJAや、開催団体と連携した街頭での啓発。「野菜が主役弁当コンクール」や「野菜料理をもう一品運動」を展開する。

今年は特に若い世代に、県産野菜の魅力と利用方法を伝え、野菜の摂取力アップを図って行く。

問 町の取り組みとして、季節の新しい簡単料理を広報に掲載してはどうか。

答 大西福祉課長

各愛育班ごとにふれあい料理教室を実施している。年6回の「男の料理教室」では、旬の野菜を使った料理講習を実施しており、保健活動業務の中で、各種団体と連携しながら、料理の普及推進に取り組んでいる。料理レシピは、愛育班だよりに掲載を検討して行きたい。

若者住宅について

問 賃貸住宅建設は、その後どうなっているのか。

答 伊丹企画

総務課長

沼江地区において、12戸の住宅建設契約が成立している。

問 若者定住対策としての町有地分譲の、残り2区画はどうなったのか。

答 伊丹企画総務課長

今年度1回目は応募がなく、7月に再度募集する。

問 船井電機に企業誘致として土地を提供したのだから、工場再開を要請してはどうか。

無理であれば町が譲り受けて、若者住宅用地にしてはどうか。

答 中田町長

現在は、かなりサービス部品を置いてあり、重要な機械もある。「今、直ちに再開や売却予定はない」との回答があったが、7月に本社に伺いたいと考えている。



活用できないが 船井電機



東部広域農道工事

大幅に遅れている 山側が崩落、工法を検討

(建設課長)

問 東部広域農道の平成24年予算は6000万円だったが、補正で追加され2億2000万円となり、最終的には1億5400万円となった。その経緯は。また、平成24年度中に中山工区の橋は完成するという説明だったが、いまだにできていない。原因は何か。

答 柳沢建設課長

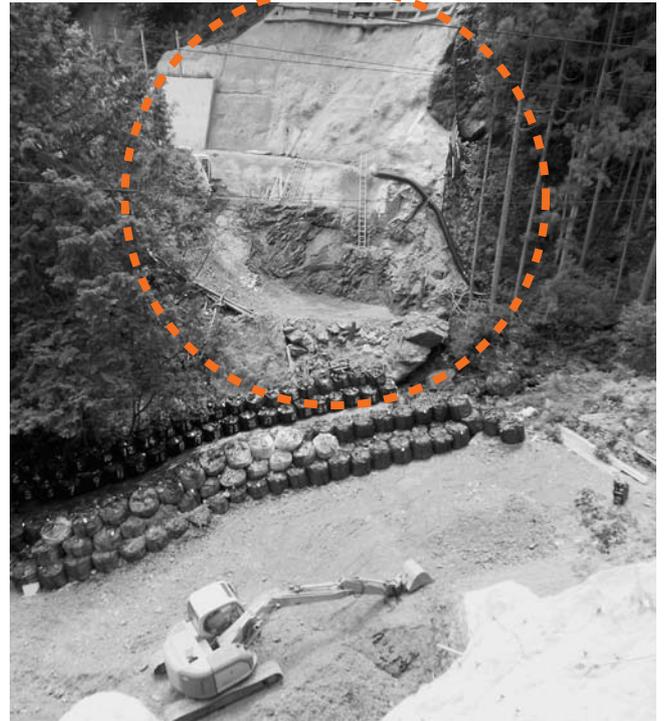
12月定例会の補正予算では、県との協議で1億6000万円追加したが、県の事情で6600万円減額になった。

工事の遅れは、山側の斜面が掘削により崩落したため、工法の検討に時間を要したためである。

問 予算の大幅な変更や工事の遅れに対し、特別委員会で説明すべきでなかったか。

答 中田町長

特別委員会で説明できていなかったのは申し訳ない。今後、十分説明して行く。



崩落現場(中山地区)

問 平成25年度は1億4000万円の予算が計上されているが、事業予定は。

答 柳沢建設課長

中山工区の橋の取り付けと舗装や、坂本工区の路床工事を予定している。

地球温暖化対策 公表できていない

問 町では平成22年3月にCO₂排出量削減計画が策定

されているが、平成23年度の実績は。

法律や町の計画書では、毎年、検証結果を公表しなければならぬとなっているが、できていないのでは。また、平成26年度以降の取り組みは。

答 小林副町長

平成23年度の総排出量は、約788t(基準年639t)となっている。

検証結果の公表はできていなかったため、今後は実

施して行く。
平成26年度以降は、国や県の目標数値を参考に計画を策定する。

職員の給与削減は

問 国は国家公務員の給与を下げることに関連し、地方公務員の給与削減を7月から来年3月まで実施するよう求めているが、一方的に交付税を減額するなど地方分権の流れに逆行している。町の方針は。

答 中田町長

町は以前から行財政改革に取り組んでおり、職員の給与削減も行ってきているので今回は削減せず、町民の福祉やサービス向上をめざして行く。

海外に売り出せ

勝浦みかん

販路拡大に向けて研究（町長）

国清一 治議員



問 勝浦みかんは海外へ「クリスマスみかん」として出荷されていた経緯があるが、どう認識しているのか。
また、みかんの新たな販路と消費拡大に向けて「輸出みかん」を再開すべき時であると考えているが、県の動き、町の取り組みは。

答 野上産業交流課長

町史の記録によると「輸出みかん」は戦前から始ま

っており、太平洋戦争で中断したものの昭和30年から再開し、カナダに輸出され、最盛期の昭和52年には約16万5000ケース（4キロ箱）約660tが輸出されていた。

その後、円高による価格調整の不調などで平成10年に中止となっている。

答 小林副町長

今、県では東アジアの輸出拠点づくりとして、みかんを含めた7品目について、輸出業者との商談会や海外でのピール販売を進めている。

また、海外輸出戦略として販路拡大を図るため、意欲のある生産地をサポート

している。

答 中田町長

勝浦みかんの販路拡大に向けて研究したい。

広く活用すべき 公設揭示場

問 町内には17カ所の公設の揭示場があるが、ベニヤが朽ち、塗装がはげ落ちるなど傷みが激しい。補修などの計画はないのか。

また、色あせた揭示物が張られているが、それを読む人はほとんどない。

各地区の一番見やすい所に設置されていることから、地区の行事などの「お知らせ揭示場」として広く活用してはどうか。

答 伊丹企画総務課長

揭示場は自治法や町条例の定めにより、条例の公布場所として設置されている。老朽化しているものは修

繕する必要がある。

答 中田町長

揭示場を区分して地域の情報进行揭示する方法もある。

今後、担当課と協議したい。

その他の質問

○議員の充て職



だれが見るの？揭示場（星谷）

美しい・町のボランティア

シリーズ①

環境美化から始まった、わが町の「ボランティア活動」。今や町おこしから地域の活性化…交流へと広がりを見せている。

今回から「美しい・町のボランティア」として団体、個人をシリーズで紹介します。

50年の輝き 「町内一斉清掃」

「今日は一斉清掃日です。1戸に1人は必ず出て……」と午前7時のスピーカーが呼びかける。

この歴史を振り返ってみますと、昭和37年に伝染病が流行し患者が増えるなか、県から「衛生モデル地区」に指定された時に、「町内一斉清掃」が始まりました。



受章記念碑

その成果が認められ昭和40年には「知事表彰」、日本公衆衛生優秀団体表彰、41年には「保健文化賞」、42年には「自治大臣表彰」を受章しました。半世紀を超え、今なお続いている全国に誇れるボランティア活動である。



7月21日に参議院選挙が行われ、最も大きな関心事であった「ねじれ国会」は解消された。

振り返れば2010年の総選挙では民主党への政権交代、昨年の総選挙では再び自・公政権へ、そして今回のねじれ解消と、最近の国政選挙では大きなつねりが起きている。

これは世の中の動きが激しいのか、それとも国民の意識の揺れが大きい結果なのか。激動という言葉はいつの世も使われているが…。

議会広報委員会も、今回より2人のベテラン委員が退任し、新しいメンバーでスタートを切った。

文章の得意な人、写真の腕に覚えありの人、それぞれの長所を組み合わせ、より良い議会をより一歩進めたい。

(公一)

編集後記

